

令和 3 年度事業計画（案）

令和3年度事業計画（案）

（令和3年4月1日から令和4年3月31日）

令和3年度事業計画基本方針（案）

1. 新型コロナウイルス感染拡大防止対策

(1) 全国事業（本部事業）

時間・場所・距離の制約なしに会員が各種行事へ参加することが可能になり、国内外の企業等との交流も容易になるオンライン事業を優先する。

(2) 地域事業（支部事業）

感染防止対策を最優先としながら、地区会会員同士の信頼関係を深め、より細やかな意見交換、知識・技術の獲得に繋がる対面事業を模索する。

2. 金型業界ワンボイス・協力・協調・競争

(1) 「業界ワンボイス」のメッセージを顧客業界、社会、政府に発信する。

(2) 「競争」「協力」「協調」の3つのキーワードが融合された業界を目指す。

3. 長期継続事業

(1) カーボンニュートラル達成に貢献する。

目標達成に向けて動き始めている自動車業界等の動向についての情報提供と議論を深め、サプライチェーンの一員としての役割を果たすことを目指す。

(2) SDGs（持続可能な開発目標）を推進する。

地球のすべての構成員に持続的発展可能性を軸とする活動が求められており、委員会、支部を横断的にSDGsを取り入れる。

(3) DX（デジタルトランスフォーメーション）を積極的に有効活用する。

オンライン事業に加えて、eラーニング導入、オリジナル動画作成など団体としての新たな価値（選択肢）を生み出す。

(4) 金型産業のブランド構築を推進する。

①今後の将来を担う人材獲得を視野に入れた金型産業イメージアップ事業

②金型産業史作成

③金型用語等の統一

④金型業界発展のために貢献した功労者を称える金型殿堂創設

(5) 日本金型工業会団体ビジョンを作成・実施する。

先ず、「新型コロナウイルス感染拡大防止対策」を優先した事業活動を実施する。

全国事業（本部事業）は「オンラインを活用」して海外も含めた全国的な交流を深めるとともに、距離・時間の制約で工業会活動に参加が難しかった会員企業に団体サービスを提供する。

地域事業（支部事業）は、全国団体の根本事業として感染防止対策を優先しながらも出来る限り「対面事業」を目指す。

金型業界の全国団体として、顧客業界、一般社会、政府に伝えていくために業界の意見を集約して「業界ワンボイス」としてのメッセージを発信する。

また、金型業界同業他社で激しく「競争」する中で、ある時は同業者として「協力」を仕合、ある時は譲り合う「協調」を行う、これら3つのキーワードを融合させた金型業界構築を目指す。

目標達成に向けて動き始めている自動車業界等の動向についての情報提供と議論を深め、サプライチェーンの一員としての役割を果たすことを目指す。

地球のすべての構成員に持続的発展可能性を軸とする活動が求められており、委員会、支部を横断的にSDGsを取り入れます。これら活動を委員会横断的かつ長期継続事業として実施する。

さらに将来の金型業界を担う人材を視野に入れた「業界イメージアップ」。遠く明治の時代から日本

の産業発展に貢献してきた「金型産業史」の作成。業界内外の意思疎通のための「用語等の統一」。私業だけでなく金型業界発展のために貢献した功労者を称える「金型殿堂」創設。これら金型産業のイメージアップとしてのブランド構築事業を実施する。

日本金型工業会の団体としての長期ビジョンを作成する。

令和3年度はコロナ禍の中で、これらの事業を実施するとともに、以下の委員会事業（全国事業）と支部事業（地域事業）を実施する。

< 全国事業 >

1. 技術委員会事業

技術委員会（21名）

委員長	(東)	平 林 巧 造	(株)サイベックコーポレーション
副委員長	(中)	渡 邊 幸 男	(株)名古屋精密金型
委員	(東)	岩 壁 清 行	(株)日本デザインエンジニアリング
委員	(東)	坂 井 雄 一	キャノンモールド(株)
委員	(東)	佐 藤 声 喜	(株)KMC
委員	(東)	鈴 木 光 一	マルスン(株)
委員	(東)	須 永 和 彦	(株)オギハラ
委員	(東)	高 橋 幹 也	双葉電子工業(株)
委員	(東)	牧 野 俊 清	(株)長津製作所
委員	(中)	久 野 功 雄	久野金属工業(株)
委員	(中)	近 藤 紗 也 子	ムツミ工業(株)
委員	(中)	鈴 木 政 幸	(株)三琇ファインツール
委員	(中)	田 中 幸 好	(株)田中金型製作所
委員	(中)	本 田 大 介	ベントム工業(株)
委員	(中)	三 宅 和 彦	(株)セントラルファインツール
委員	(中)	安 田 耕 三	(株)安田製作所
委員	(西)	山 中 雅 仁	(株)ヤマナカゴーキン
委員	(賛)	市 川 泉	(株)ミスミ
委員	(賛)	加 田 善 裕	小山鋼材(株)
委員	(賛)	坂 西 伸 一	日本金型産業(株)
委員	(賛)	森 清 二	(株)ミスミ

金型並びに金型関連産業の技術・規格に関する事業及び技術委員会関係の行政施策への要望や協力事業を実施する。

- (1) 技術革新交流会（工場・研究所見学会・技術セミナー・デモ見学会）を開催する。
- (2) 金型関連技術に関する各種技術情報を収集並びに金型用語の整備を行う。
- (3) 金型規格分科会にて金型関連規格（JIS・ISO等）の動向に対応する。
- (4) 中央技能検定運営（金型関連技能検定委員推薦など）に協力する。
- (5) 卓越した技能者の表彰者（現代の名工）推薦に関する活動を行う。
- (6) 金型製造業に関連する法規制などに対応する。
- (7) 最新金型技術情報・金型現場課題解決情報等を技術委員で検討して情報として配信する。
- (8) 技術委員会を開催する。
- (9) その他、技術委員会に関係する事業を必要に応じて適時実施する。

2. 経営労務委員会事業

経営労務委員会（8名）

委員長	(中)	迫田幸博	(株)エムエス製作所
委員	(東)	打田尚道	(株)打田製作所
委員	(東)	河西正彦	イースタン技研(株)
委員	(東)	小林憲一郎	小林工業(株)
委員	(東)	小泉秀樹	(株)ペッカー精工
委員	(中)	小塚義典	コヅカテクノ(株)
委員	(中)	石川幹人	(株)リバン・イシカワ
委員	(中)	山田徹志	(株)日章

金型並びに金型関連産業の企業経営に関する事業及び経営労務委員会関係の行政施策への要望や協力事業を実施する。

- (1) 賃金・労働時間調査を行い、集計結果を報告書として正会員に配布する。
令和2年度に引き続き、令和2年度も報告書は回答者のみに配布する。
- (2) 働き方改革・事業承継に関して等の情報提供を積極的に行う。
- (3) 金型業界動向調査を行い、集計結果を報告書として正会員に配布する。
- (4) 簡易金型景況調査を3ヶ月毎年4回行い、集計結果を報告書として会員に配布する。
- (5) 金型図面データ・金型加工データの知的財産保護に関する活動を行う。
- (6) 金型取引環境整備に関する活動を行う金型取引改善分科会を設置・運営する。
- (7) 会員企業の法律・労務管理・社会保険に関してサポートを行う。
(弁護士・社会保険労務士による会員向け無料相談システム)
- (8) セーフティネット保証5号に基づく特定業種の指定に関する調査票を作成する。
- (9) 経営労務に関するセミナーを開催する。
- (10) 金型に関連する統計資料を収集・編集して情報提供する。
(機械統計(月毎)・工業統計(年毎)・輸出入統計(月毎)・その他関連統計)
- (11) 金型製造業における新たな外国人受入れ制度の適正運用に関する活動を行う。
- (12) 経営労務委員会を開催する
- (13) その他、経営・労務に関する事業を必要に応じ適時実施する。

3. 広報委員会事業計画

経営労務委員会（11名）

委員長	(東)	小泉秀樹	(株)ペッカー精工
委員	(東)	池上正信	池上金型工業(株)
委員	(東)	岩壁清行	(株)日本デザインエンジニアリング
委員	(東)	鈴木教義	(株)鈴木
委員	(東)	高橋清一	清和金型工業(有)
委員	(東)	千葉英樹	(株)チバダイス
委員	(中)	小川泰徳	(株)アサヒダイテック
委員	(中)	梶川豊司	(株)フジタ
委員	(中)	斎藤清司	(株)斎藤金型製作所
委員	(中)	嶋田宏樹	日嶋精型(株)
委員	(西)	清水一蔵	(株)福井精機工業

金型並びに金型関連産業に関する社会への啓発、広報活動事業及び広報委員会関係の行政施策への要望や協力事業を実施する。

- (1) KANAGATAの世界DVDを活用して学校関係(教育関係)へ金型業界及び日本の金型のPR活動を行う。(教育関係へ配布方法の検討を行う)

- (2) 小中学生など学生向けの見学会の受け入れ方法などを、他の委員会・支部と共同で実施に向けての検討を行う。
- (3) インターモールド会場内で小学生向け金型体験会を実施する。
- (4) 金型新聞へ日本金型工業会会員募集及び事業紹介広告掲載を行う。
(1年間. 12回継続掲載)
- (5) 機関紙「金型」を年4回発行する。
- (6) ホームページを運営して会員・会員外に金型関連の情報を提供する。
- (7) かながた小町の活動を行い、業界内で女性の活躍していることをPRする。
- (8) インターネット「メールマガジン」機能を利用して会員・会員外に金型関連の情報を提供する。
- (9) インターモールド 2021&金型展 2021（東京）を開催する。
- (10) インターモールド 2021&金型展 2021（東京）工業会会員出展ブース設営を行う。
- (11) インターモールド 2022&金型展 2022（大阪）開催準備を行う。
- (12) インターモールド 2022&金型展 2022（大阪）工業会会員出展準備を行う。
- (13) インターモールド 2022&金型展 2022（名古屋）開催準備を行う。
- (14) インターモールド 2022&金型展 2022（名古屋）工業会会員出展準備を行う。
- (15) 第13回学生金型グランプリ（東京）を開催する。
- (16) 第14回学生金型グランプリ（大阪）開催準備を行う。
- (17) その他、広報委員会に関する事業を必要に応じて適時実施する。

4. 国際委員会（17名）

委員長	(東)	池上正信	池上金型工業(株)
副委員長	(東)	木田成人	昭和精工(株)
委員	(東)	岩壁清行	(株)日本デザインエンジニアリング
委員	(東)	加藤忠郎	日進精機(株)
委員	(東)	黒柳告芳	(株)明輝
委員	(東)	河野透	双葉電子工業(株)
委員	(東)	牧野俊清	(株)長津製作所
委員	(中)	小出悟	(株)小出製作所
委員	(中)	高橋茂壽	(株)高橋精機工業所
委員	(中)	早瀬實	(株)ナガラ
委員	(中)	渡邊祐子	(株)名古屋精密金型
委員	(西)	山中雅仁	(株)ヤマナカゴーキン
委員	(賛)	木野晴喜	(株)MOLDINO
委員	(賛)	山本英彦	(株)牧野フライス製作所
委員	(外)	井口佳和	インターモールド振興会
委員	(外)	茄子川仁	(株)事業革新パートナーズ
委員	(外)	横田悦二郎	日本工業大学

金型並びに金型関連産業に関する国際交流・協力事業及び国際委員会関連の行政施策への要望や協力事業を実施する。

- (1) 国際金型協会（ISTMA）・アジア金型協会（FADMA）などの国際会議に参加する。
- (2) 日本の金型業界を代表して世界各国、地域と金型に関する国際親善に対応する。
- (3) 広報委員会と協力して海外向けの広報活動を行う。
- (4) 外部機関と連携して会員企業の要請に応じた海外展開のサポート（橋渡し）を実施する。
- (5) オンラインツール（ZOOM等）を最大限に活用して、海外金型関連情報の収集と提供を随時行うとともに、海外の会員企業を含む国際交流を深める（セミナーの開催等）。
- (6) 国際委員会を開催する。

5. 総務財務委員会事業

総務財務委員会（12名）

委員長	(中)	山田	徹志	(株)日章
委員	(東)	大場	治	(株)狭山金型製作所
委員	(東)	並木	正夫	(株)並木金型
委員	(東)	牟田	伊夫	日本金型材(株)
委員	(東)	星野	俊一	(株)北辰金型工業所
委員	(中)	魚岸	力	魚岸精機工業(株)
委員	(中)	小出	悟	(株)小出製作所
委員	(中)	迫田	幸博	(株)エムエス製作所
委員	(中)	野田	泰義	KTX(株)
委員	(中)	早瀬	一明	チヨダ工業(株)
委員	(中)	早瀬	實	(株)ナガラ
委員	(西)	河野	允熙	東洋金型工業(株)

他委員会事業以外で工業会の目的を達成するために必要な事業及び総務・財務委員会関連の行政施策への要望や協力事業を実施する。

- (1) 工業会の活性化、組織の強化、資産の健全な維持・運用を図る。
- (2) 会員増強に関する事業を重点的に引き続き行う。

【会員増強キャンペーン】

- ・入会金0円キャンペーンの継続
 - ・会員増強シートの活用
 - ・全国金型企業（会員外）データに基づき1会員1社勧誘活動の実施
- (3) 行賞規程及び「金型の日」表彰要領に従い「金型の日」における表彰を行う。
 - (4) 慶弔規程内規に従い会員及び職員の慶弔見舞を行う。
 - (5) 会員調査（正会員）アンケートを行う。
 - (6) 第48回金型の日（場所 インターコンチネンタル東京ベイ）（東京）を開催する。
 - (7) 第6回金型シンポジウムを開催する。（候補 大阪市）
 - (8) 第1期生・第2期生向け金型アカデミーを開催する。
 - (9) シニア金型マスターに対して金型アカデミーを開催する。
 - (10) 金型学校（仮称）として各種人材育成セミナーの整理統合等を行う。
 - (11) 金型学校の一環として、はじめての図面の読み方セミナーの動画作成の準備を行う。
 - (12) 金型企業における中核人材育成事業を実施する。
 - (13) 第7回全国金型交流会・金型ゴルフコンペを開催する。（担当：東部支部ゴルフ会）
 - (14) 機械補償制度・火災補償制度及び労災補償制度の継続に関して検討を行う。
 - (15) 全国中小企業団体中央会の補償制度を活用する。（団体会費初年度は無料）
 - (16) 会務及び諸規定等の策定・見直しを行う。
 - (17) その他、総務、財務に関する事項について検討を行う。
 - (18) 総務・財務委員会を開催する。
 - (19) 日本金型工業健康保険組合、日本金型工業企業年金基金の活動に協力する。
 - (20) 会長および理事会による特命事項について検討を行う。

6. 認証委員会事業

認証委員会（4名）

委員長	小出	悟	(株)小出製作所
委員	打田	尚道	(株)打田製作所
委員	木田	成人	昭和精工(株)
委員	平林	巧造	(株)サイベックコーポレーション

金型に関連する認証事業並びにサイバー関連に関する事業を実施する。

- (1) 産業競争力強化法に基づく技術情報管理認証制度の認証機関として認証業務を実施する。
- (2) 技術情報管理の高度化を推進する。
- (3) 認証委員会を開催する。
- (4) その他、認証委員会に関する事業を必要に応じて適時実施する。

< 地 域 事 業 >

■東部支部事業計画（案）

1. 委員会活動

(1) 技術委員会

- ①金型技術の向上を図るため第49回金型関連技術発表講演会を開催する。
- ②金型製造現場における技術的な問題や課題の解決を目指す金型生産システム研究会幹事会ならびにワーキンググループを運営する。
- ③金型業界ならびに関連業界の技術情報を収集する。

(2) 経営労務委員会

- ①NC-CARP 産学連携コンソーシアム（運営主体：東京大学）の協力の下、産学共同による事業展開や助成金の共同申請等、経営オプションの拡大に資するセミナーを開催する。
- ②事業承継や働き方改革等、経営・労務に関するセミナーを開催する。
- ③その他、経営・労務に関する事業を適時実施する。

(3) 広報委員会

- ①金型業界の知名度向上とともに金型の重要性を広報する活動を行う。
- ②支部新年懇親会・総会やその他研修会の講師選定など企画を立案する。
- ③会員増強に向け、各種の広報活動を行う。
- ④東部支部熟年経営者の会である「金型湯島会」の運営を補助する。
- ⑤東部支部ゴルフ会を年6回開催する。
- ⑥本部広報委員会事業のサポートを行う。

(4) 活性化委員会

- ①会員増強事業の企画・検討・実施する。
- ②金型業界ならびに関連業界の動向について情報収集を行う。
- ③金型業界で注目を集めているテーマについて、適宜、研修会やセミナーを開催する。
- ④会員企業のニーズを集め新規事業を企画し、各委員会へ提案を行う。

2. 型種別部会・地区会活動

(1) プラスチック型部会

- ①部会全体の運営を検討する幹事会を開催する。
- ②研修会や見学会を開催する。
- ③4つの地区会が集まって合同地区会を開催する。
また4つの地区会は、それぞれ下記の活動を推進する。
 - ・城東地区会：定例地区会を開催する
 - ・城西地区会：定例地区会を開催する。
 - ・城北地区会／新潟地区会：定例地区会を開催する。
 - ・城南地区会：定例地区会を開催する。

(2) プレス型部会

- ①定例部会を開催する。
- ②ユニーク（特徴のある）経営者の話を聞く会（工場見学）を開催する。

(3) 鋳鍛DC型部会

- ①定例部会を開催する。
- ②工場見学会を開催する。

(4) ゴム型部会

- ①定例部会を開催する。
- ②工場見学会を開催する。

(5) 新潟地区会

- ①定例部会を開催する。
- ②工場見学会を開催する。

3. その他

- ①経済産業省、関東経済産業局、東京都をはじめとする各行政機関が実施する事業に協力する。
- ②日本金型工業健康保険組合、日本金型工業企業年金基金の活動に協力する。
- ③若手経営者並びに後継者で組織している天青会の運営に協力する。
- ④その他、東部支部の事業目的を達成するための諸事業を行う。

■中部支部事業計画（案）

1. 部会活動

部会活動は以下の事業を計画する。

7つの部会(ゴム・プラスチック型部会、プレス型部会、ダイカスト型部会、鋳造型部会、鍛造型部会、浜松部会、北陸部会)では、WEB会議方式等も利用して令和の金型産業ビジョン等を教材にした勉強会、技術交流会及び現場力改善活動発表会等を開催し、情報交換、技能・技術向上に努め、知識吸収を図る。会員相互に切磋琢磨し、難局を乗り越えるための人づくりを目標にした活動を行う。

2. 委員会活動

委員会活動は以下の事業を計画する。

(1) 運営委員会

総会運営案並びに役員人事に関する件について検討する。
各委員会並びに部会へ協力態勢をする。

(2) 役員会

本部理事会終了後の伝達並びに支部独自の運営について必要事項討議の為、随時開催を予定する。

(3) 経営・労務委員会

- ①会員のニーズに即したセミナー等を実施し、サポート情報を提供する。
- ②本部の経営労務委員会に出席し、当支部の動向・意向を反映させるとともに、同委員会からの必要事項を伝達する。
- ③事業推進の必要に応じて委員会を開催する。

(4) 技術委員会

- ①正会員、賛助会員、大学等の技術研究機関等と協力して、最先端技術や数年後の技術等についての研究成果及び事例の発表の場として「特別講演会・金型関連技術発表交流会」を企画運営し、開催に努める。
- ②公的試験研究機関並びに大学等との交流を深め、新技術の開発と金型技術の向上を図る。
- ③金型関連企業及び団体各位に協力を求め、海外情報をはじめ、講習・講演会の共催を依頼する。

(5) 福利厚生委員会

会員各社の和と健康保持を奨励し、ソフトボール大会・ボウリング大会のレクリエーション事業を検討して主催する。

開催予定

- ①第49回中京地区ソフトボール大会 令和3年10月16日(土) 於：諸の木グラウンド
- ②第49回ソフトボール決勝大会(浜松地区開催) 令和3年11月6日(土)
- ③親善ボウリング大会 — 令和3年12月5日(日) 於：名古屋グランドボウル

(6) 広報委員会

- ①新春講演会並びに新春賀詞交歓会を企画運営する。
- ②(一社)日本金型工業会会報及びホームページ内中部支部ページについて、掲載内容等の企画・検討をする。
- ③関係官庁・諸団体からの各種案内について、メール配信を推進する。
- ④本部広報委員会に協力すると共に支部に設置のない本部委員会の情報を速やかに伝達する。

(7) 会員増強・金型企業活性化戦略委員会

- ①基盤拡充のため新入会の推薦に努め、入会案内の効果的な配布や会員知己の会員外企業を種々の企画へ誘う等試験的手法を積極的に取り入れ入会促進に注力する。
- ②会員企業が抱える課題、特に働き方改革による影響及び人材確保に関して実態把握を行い解決に繋がり得る魅力ある企画を実施する。
- ③他の地区会との合同による等工夫をして地区会を開催し、会員企業の活性化を推進する。
- ④本部委員会に協力するとともに情報を速やかに支部会員に伝達し、経営戦略の検討等、金型産業の活性化を図る。

(8) その他

- ①関係各官庁、業界団体の講習会・講演会等の案内を速やかに連絡して知識吸収を奨励する。
- ②イーグル会、中部金型クラブの運営に協力する。

■西部支部事業計画(案)

令和3年度西部支部のメインテーマは「顧客の価値を高め、人を育て、共に育つ経営」を目標とし、会員増強につなげる為、下記の4点を軸に活動をしていくこととする。

1. DX(デジタル・トランスフォーメーション)による金型の将来性を考える勉強会の開催
2. 新時代に応じた人材を「獲得・定着・育成・活かす」為の勉強会の開催
3. 顧客価値・市場ニーズの調査から販売と時代変化に対応する為の勉強会の開催

4. 新時代を切り開く“道”として「連携・統合・協業」を学ぶ勉強会の開催

具体的な活動としては下記の事業を実施する。

1. 講演会・工場見学会など企業間の連携を生み出す「出会いの場」として、また仕事を生み出し儲ける経営に繋がる勉強会を開催する。
2. 第10回金型関連技術発表講演会を開催する。
3. 第9回西部支部総会（令和3年度事業計画説明会）を開催する。
4. 西部支部新年懇親会を開催する。
5. 会員増強事業としての西日本金型関連企業交流会を開催する。
6. 会員増強事業としての非会員企業向けの「会員無料体験事業」を実施する。
7. 若手の会としての「型青会」を運営する。
8. 金型生産システム委員会を運営する。
9. 会員の親睦を目的としたゴルフ会を運営する。
10. 型技術協会など金型関連の他団体と交流を深める。
11. 日本金型工業企業年金基金、日本金型工業健康保険組合の活動に協力する。
12. 型種別・地域別活動について検討を行う。
13. 経済産業省、各行政機関の事業に協力する。
14. 西部支部役員会を開催する。
15. その他、西部支部の事業目的達成のために必要な活動を行う。